

### 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年11月21日

#### 【評価実施概要】

事業所番号	2871600603		
法人名	社会福祉法人 千鳥会		
事業所名	グループホーム しおさい		
所在地	兵庫県淡路市郡家字居屋敷374番地1 (電話) 0799-80-5050		
評価機関名	特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構		
所在地	兵庫県姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階		
訪問調査日	平成20年11月7日	評価確定日	平成20年11月21日

#### 【情報提供票より】(平成20年 月 日事業所記入)

##### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 14人, 非常勤 5人, 常勤換算	16.3人

##### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての 1 ~ 2 階部分		

##### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	約15,000 円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	170 円	昼食	430 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,200 円			

##### (4) 利用者の概要(10月22日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	16 名
要介護1	1	要介護2	3	
要介護3	11	要介護4	3	
要介護5	0	要支援2	0	
年齢	平均 84.4 歳	最低	73 歳	94 歳

##### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 順心会 津名病院
---------	---------------

#### 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

庭の前に広がる海に面して建てられたグループホームしおさいは、開設5年目を迎え、多施設を持つ「千鳥会」の一角を担っている。公民館や図書館など公共施設が近くにあり、交流の場も多く地域に馴染んでいる。事業所の理念である『いつも笑顔で支援します』が日常のサービスに浸透し、実践されている。職員・入居者が共に穏やかに暮らし、支援する側される側の境のない生活に取組んでいる。

#### 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)
	前回評価の結果は運営推進会議で公表し、話し合いが持たれ、改善課題について職員間で検討し、改善に向けて取組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4)
	今回の自己評価はユニットごとの職員で話し合いを持ち、取組んでいる。職員が自己評価に取組む事により、日々の支援の見直し等を行っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6)
	運営推進会議は、市職員、地域役員、地域ボランティア、社会福祉協議会職員、家族代表、利用者代表、職員等のメンバーで構成され、定期に開催されている。事業所の運営状況の報告や行事の反省、外部評価の報告などについて検討し、それぞれの立場からの意見を頂き、サービスの質の向上に活かした取組みをしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8)
	家族の意見や苦情は、訪問時に伺い、気軽に言ってもらえる雰囲気作りに配慮している。家族との協力関係をより深め、さらに意見を運営に反映する今以上の具体的な取り組みに期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3)
	地域の社会資源を活用したり、地域活動に職員、利用者共々参加したり、日頃から近隣の人々との交流が深く、地域密着型サービスとしての地域連携が日常的に行なわれている。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念に加え、地域密着型サービスとしての位置付けとしての内容を職員で話し合わせ、掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼で理念を唱和し、理念の項目から1日のケア目標を取り上げ、職員全員で理念の実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、老人会、公民館活動にも積極的に参加したり、近くの小学校の運動会の競技にも利用者、職員共々出席し、高校の行事等参加している。地域の人々と広く交流することに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を職員会議で職員全員に伝え、管理者、計画作成担当者、各フロア担当者で自己評価に取り組んでいる。評価結果を踏まえ、熱意をもって具体的な改善に向けて実践している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	市職員、地域役員、地域ボランティア、家族代表、利用者、事業所職員等、幅広い立場の人が参加し、定期的に運営推進会議を開催し、評価結果や改善経過について報告している。		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	法人の広報誌やホームだよりを定期的に訪問・配布しており、運営やサービス内容についても相談したり、情報提供がなされている。市担当者と協働関係の継続に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	利用料の支払いに毎月家族が来られる時に、金銭管理の報告や、健康状態、日常の様子を説明している。また、随時、電話等で個別に連絡をしている。		家族等の安心を確保し、事業所との協力関係をより深く築く為にも、定期的な事業所からの書面等による個別の報告が望まれる。本人や家族等の状況に合わせた具体的な取り組みに期待したい。
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見箱設置や年2回のアンケートを行なっている。また、運営推進会議に出席された家族代表から他の家族からの要望等もまとめて、事業所に意見を伝えてもらっている。家族から意見が述べやすい雰囲気作りに留意している。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の異動や退職時の引継ぎには、新しい職員に3パターンのシフトによる業務を覚えてもらえるように職員配置に配慮している。また、退職する職員から、新しい職員に引き継ぐことを利用者に伝えている。		職員の交替時の引継ぎ期間をゆとりを持って設定したり等、利用者へのダメージを防ぐ配慮を具体化した事業所側の取組みが望まれる。


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部研修には、職員の希望や段階に応じて受講できる体制がとられ、内部研修は年間計画を立て、職員の研修希望を取り入れながら必要な内容に基づいて行っている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	新しくできた事業所は職員が交代で見学に行ったり、また、他事業所からの見学の受け入れ等を行っている。同業者の交流会が今月から行われ、近隣の同業者との連携を通じてサービスの質の向上を図っている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	利用前に本人・家族で事業所を見学してもらい、馴染めるかどうかを1日体験を実施した結果で決め、納得した上でサービスを開始するように取り決めしている。また、落ち着いた方に関しては、家族の協力を得ながら徐々に馴染める工夫を行っている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員が利用者に畑仕事や料理方法、掃除の仕方等、日常生活場面で教えてもらったり、優しい声をかけてもらったり、肩揉み等で労わってもらったり、お互いが協働しながら生活できるような取組みがなされている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの意向や希望の把握に、日常生活での会話や表情から読み取るように努めている。		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人・家族からホームで暮らすための課題や意向・希望を聞き取り、担当者が原案を作成し、計画作成担当者、管理者、看護師等がそれぞれの意見を出し合い、検討し、介護計画作成に取り組んでいる。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画実施記録やユニット会議で個人の状態や変化、ケア内容について個別に検討し、評価が行われている。変更がなければ、期間に応じて介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	共用型デイサービスを実施しており、緊急性のある近隣の高齢者の受け入れや、家族の状況に応じて、その時々々の要望に臨機応変に対応している。家族に代わって通院代行等柔軟な支援が行われている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望により市外のかかりつけ医への受診は、家族同行でお願いしているが、近隣の医院の受診が多く、訪問診療等に対応して頂き、利用者の日常の健康管理面で馴染みの信頼関係が築かれている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医療処置の必要性があり、経口摂取が不可能な状態をホームでの生活の限界と捉え、家族に契約時に説明している。そういう状態になった場合には、医師や看護師、家族、職員で話し合い、変化に応じて相談し、安心してサービスを利用できるように総合的な支援につなげている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	顧客サービス委員会を設置し、プライバシー保護や接遇等について教育研修を受け、目標を設定し、達成しているかを確認し合っている。言葉使いも馴れ合いにならないように職員間で注意し合っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の都合や職員のシフトを優先するのではなく、一人ひとりの希望を大切にしながら、その時々々の些細な要望にも応えられる様に個別の支援に努めている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの希望の食べ物を献立に盛り込み、食事作りから後片付けまで職員と利用者が一緒に楽しみながら行い、出来る力を活かした取り組みがされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後から一人ずつゆっくり入浴を楽しんでもらい、最低週に2回以上入ってもらえるように支援している。希望やタイミングに合わせて柔軟に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理、畑作業、掃除、花活け等、日々の生活の中で、得意な面や役割を持つよるこびを感じてもらえるように、一人ひとりの力を活かした支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎朝、海岸通りやその日の利用者の希望に合わせて、コースを決めて散歩に出かけている。月間行事計画や年間計画に外出を多く取り入れ、個別の急な外出希望にできる限り対応できるように取り組んでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	以前は鍵をかけないで支援を行っていたが、安全性を重視し、来客対応もチャイムで確認し、日中も、玄関が死角になるために施錠している。		チャイムやセンサー等の設置や見守り方法について、再度職員全員で話し合いを持ち、日中鍵をかけないで支援していく姿勢や努力する意識付けを徹底し、安全面に配慮しながら、自由な暮らしを支える支援が望まれる。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得て、年2回、夜間を想定した防災訓練を行っている。地域住民に参加してもらい、消火器の使い方の訓練や災害に備えた避難訓練等を定期的に行っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分の摂取状況を毎日記録し、1日の水分量の摂取目標を1,800cc以上として取り組んでいる。栄養バランスのとれた食事を提供する為に、定期的に管理栄養士の専門的なチェックをしてもらっている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は窓を多く設置しており、明るく、自然の風や温もりを取り込めている。手入れが行き届き、季節の飾り物や、花活けが活用され、居心地の良い暮らしの場を整える工夫がなされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたタンス、テーブル、椅子が置かれ、居心地の良い居室作りに配慮している。家族の写真や趣味の手作り品を飾るなどその人の個性に合わせた工夫がなされている。</p>		

 は、重点項目。